



林野庁 北海道森林管理局
釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

飛鶴の森林から

第73号

当センターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

根釧西部森林管理署のエゾシカ囲いワナを視察

平成25年3月5日(火)、根釧西部森林管理署が釧路市(旧阿寒町)内の国有林に設置したエゾシカ囲いワナを視察しました。囲いワナによるエゾシカの捕獲は、樹皮はぎなどによる森林被害や、近隣の農業被害を減少させることを目的として、林野庁が実施しているものです。

森林の中に設置した囲いワナは、広さ200㎡ほどの区域の周囲を黒いシートで覆い、中に餌を置いてエゾシカが集まるのを待ち構え、群が入った時に入口を閉じようとしています。囲いの高さは約3mありますが、これより低いとエゾシカに簡単に逃げられてしまうとのこと。入口は1箇所だけで、スイッチひとつで閉じられるようになっており、囲いワナの上部に設置されたビデオカメラで離れた場所からワナの中の様子を確認しながら操作します。この日は、5頭のエゾシカを捕獲することができました。



囲いワナの入口



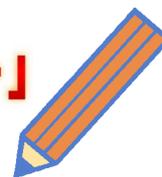
捕獲したエゾシカ



エゾシカの樹皮はぎ(食害)を受けた樹木

お知らせ

当センターは2013年4月から
「釧路湿原森林ふれあい推進センター」
に名称を変更します。



当センターは、林野庁の組織として、国有林野事業特別会計の中で業務を行ってまいりましたが、4月に国有林野事業が特別会計から一般会計に移行することとなり、これに伴い当センターは「釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター」から「釧路湿原森林ふれあい推進センター」に名称を変更します。

雷別地区国有林やパイロットフォレストで進めている各種の森林ふれあい活動については従来どおり実施します。「国民の森林 国有林」をモットーに、更にわかりやすく親しみやすい取組を進めていきますので、今後ともよろしく願いいたします。

パイロット フォレスト

第2回 「パイロットフォレスト」の歴史（1）

別寒辺牛川上・中流部は、その昔、ミズナラ等の広葉樹やエゾマツ・トドマツ等の針葉樹に覆われた天然林でした。大正時代に太田村（現 厚岸町太田地区）に入植された方に話では、パイロットフォレストのある場所は入植当時、鬱蒼とした森林が広がっていたとのこと。

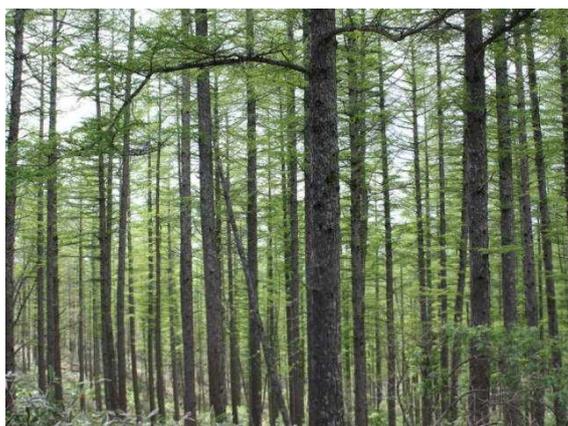


パイロットフォレスト造成以前の風景

北海道開拓時代には、多くの方が別寒辺牛川流域に移り住みました。移住者の増加とともに、開拓に伴う失火、釣り人による焚き火やたばこの不始末などにより、この地域の森林は繰り返し山火事に見舞われました。しかし、一旦発生した山火事は、消火をしようにも周囲を湿地に囲まれ、道が無いことから通行が困難で思うような消火活動ができず、自然鎮火を待つしかありませんでした。そのため、ここは長い間、沢浴いなどの一部の場所だけに森林が残り、他は山火事跡の原野が広がるという時が続きました。

昭和 29 年、北海道は洞爺丸台風の影響により未曾有の被害を受け、森林においても甚大な風倒木被害が発生しました。日本の高度経済成長が始まりつつある頃で、この風倒木処理を契機として、木材需要の増大に対応するため林野庁は国有林生産力増強計画を推進しました。

この生産力増強計画を背景に、昭和 31 年には未立木地であったこの地域を森林に甦らせることを目的とした「特別造林実行計画」を樹立し、パイロットフォレストにおける大規模な森林造成への第一歩を踏み出すこととなったのです。



今のパイロットフォレストの様子

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp